

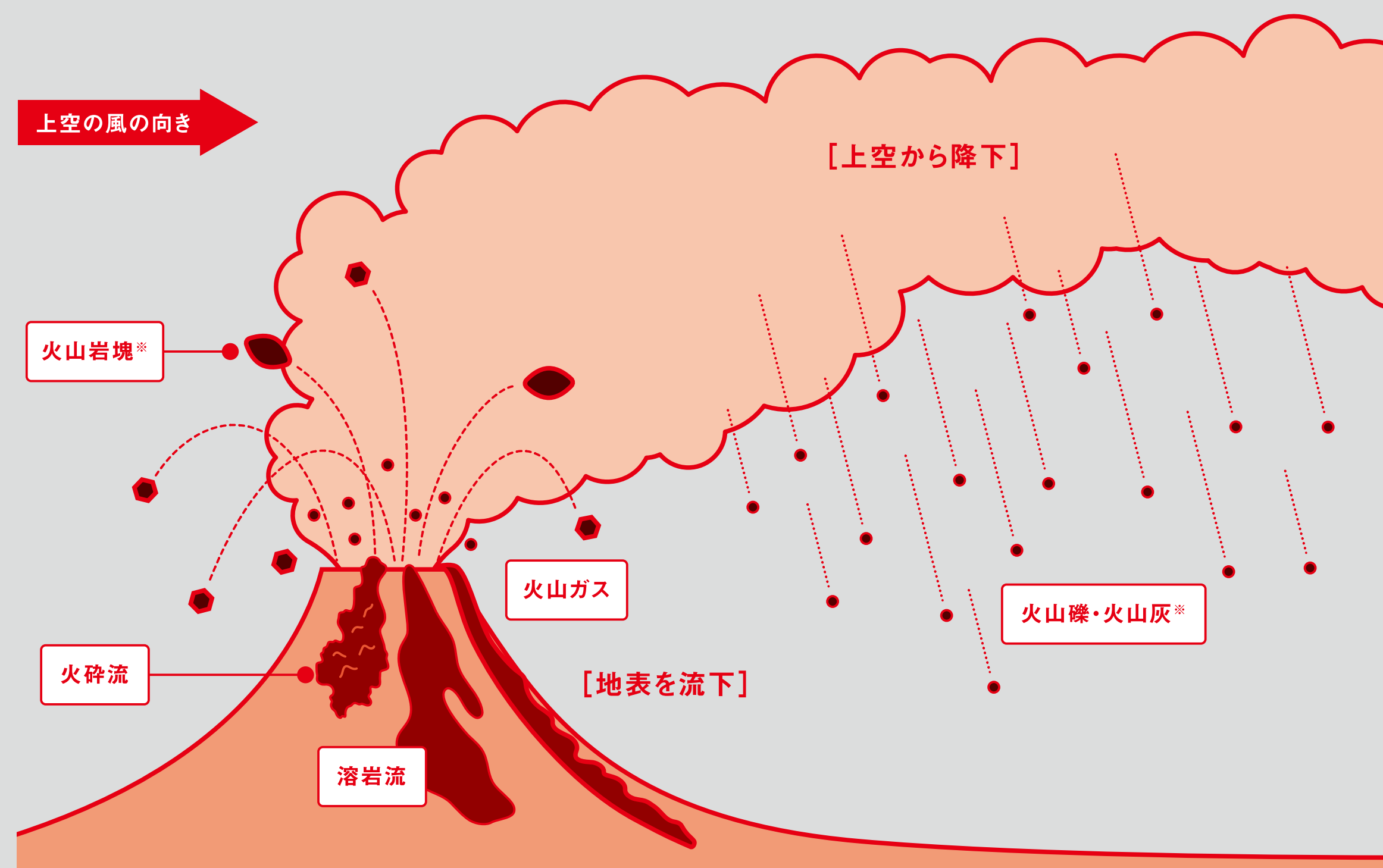
噴火により噴出されるもの

Materials Ejected During Eruptions



噴火時には、火口からさまざまなものが噴出される。マグマが液体で噴出したものを溶岩といい、地表を流下すると溶岩流となる。その他の破片状の固体の噴出物を火山碎屑物（火砕物）といい、大きさにより火山岩塊、火山礫、火山灰と呼ぶ。火砕物は上空から降下するものと、火砕流など地表を流下するものがある。また、気体として噴出される火山ガスは毒性を含む場合がある。

噴火により噴出されるもの



※ 火砕物のうち、直径が64mm以上のものを「火山岩塊」、2~64mmのものを「火山礫」、2mm以下のものを「火山灰」という
なお、気象庁では、火砕物のうち防災上警戒・注意すべき大きさのものを「噴石」と呼ぶ
概ね20~30cm以上の風の影響をほとんど受けずに弾道を描いて飛散する噴石のことを「大きな噴石」と呼び、直径数cm程度の風の影響を受けて遠方まで流されて降る噴石のことを「小さな噴石」と呼ぶ